

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

総合文化政策学研究科

文化創造マネジメント専攻 修士課程 <社会人入試/一般入試(秋)>

小論文

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

問題 I、問題 II のいずれか 1 題を選択し、別紙解答用紙に選択した番号を明記のうえ、解答すること。

問題 I 以下の文は文化芸術基本法の冒頭部分である。これを読んだ上で、後の問い(問1~2)に答えよ。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

総合文化政策学研究科

文化創造マネジメント専攻 修士課程 <社会人入試/一般入試(秋)>

小論文

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

総合文化政策学研究科

文化創造マネジメント専攻 修士課程 <社会人入試/一般入試(秋)>

小論文

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

(文化芸術基本法 2017(平成29)年6月施行)

問1 第二条3に関して、「人々の生まれながらの権利」が妨げられている日本国内の事例をあげ、それに対して、どのような政策的対応が行われているか具体的に説明せよ。

問2 第二条10に関して、前文の下線部の記述を踏まえたうえで、この条文が今日の日本においてどのような意義を持つのかを説明せよ。さらに、このような理念を実現する上での課題をあげ、これらに対してどのような政策を推進することが必要か、考えを述べよ。

(問題I 終わり)

(次ページにつづく)

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

総合文化政策学研究科

文化創造マネジメント専攻 修士課程 <社会人入試/一般入試(秋)>

小論文

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

問題Ⅰ、問題Ⅱのいずれか1題を選択し、別紙解答用紙に選択した番号を明記のうえ、解答すること。

問題Ⅱ 次の文を読み、後の問い(問1~2)に答えよ。

(『社会連帯責任主義』 pp. 13-14)

(次ページにつづく)

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

総合文化政策学研究科

文化創造マネジメント専攻 修士課程 <社会人入試/一般入試(秋)>

小論文

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

問題I、問題IIのいずれか1題を選択し、別紙解答用紙に選択した番号を明記のうえ、解答すること。

(瀬名秀明の発言、瀬名ほか『知の統合は可能か』時事通信社2023、pp. 375-377、原語表記について一部省略)

*style、言い回し。

問1 傍線部①「自己責任論」と傍線部②「連帯責任主義」との相違を説明し、後者の立場に立ったときの新型コロナウイルスの蔓延に対する対処例を記せ。

問2 傍線部③「おかしな社会進化論」について、上記引用の後に筆者は、新型コロナウイルスと共存して「より強靱な人類へ進化した方がいい」、というも「命を使って何をするかが人間であって、命そのものは道具に過ぎない」ので「動物として生きるのなら、命は経済より重いだろうが、人間として生きるのなら、経済は命より重い」からだとして述べる漫画家を批判する。この批判の理路を再現した上で、「分断」と「連帯」について自身の考えを述べよ。

(問題II 終わり)

(問題 終わり)

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

総合文化政策学研究所

文化創造マネジメント専攻 修士課程 <社会人入試/一般入試(春)>

小論文

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

問題I、問題IIのいずれか1題を選択し、別紙解答用紙に選択した番号を明記のうえ、解答すること。

問題I. 以下のA、B、2つの文書は、2015(平成27)年5月に閣議決定された「文化芸術の振興に関する基本的な方針—文化芸術資源で未来をつくる—(第4次基本方針)」の冒頭部分と、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 大会ビジョン」である。この2つの文章を読んで【問1】と【問2】に答えなさい。

<我が国が目指す「文化芸術立国」の姿>

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

総合文化政策学研究所

文化創造マネジメント専攻 修士課程 <社会人入試/一般入試(春)>

小論文

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

文書B 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会「大会ビジョン」

【問1】オリンピック・パラリンピック東京大会における文化プログラムについて簡潔に説明せよ。

【問2】第4次基本方針が掲げた「文化芸術立国の姿」に関して、現在において「実現したこと」と「実現しなかったこと」の両方の視点から評価し、今後の日本の文化政策のあり方について、考えを述べよ。解答に際しては、以下のキーワード群の中から、6以上の用語を用いて記述し、使用したキーワードには文章中に下線を引いて示すこと。

<キーワード群> () 内の用語は略称を表す。答案作成にあたっては略称を使用しても良い、
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(大会組織委員会) 地方自治体 認証 補助金
東京2020公認文化オリンピック(公認プログラム) beyond2020 公式スポンサー 文化施設 芸術団体 文化財
障害者 外国人 被災地 インバウンド 出国税 地域アーツカウンシル 新型コロナウイルス オンライン

(問題I 終わり)

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

総合文化政策学研究科

文化創造マネジメント専攻 修士課程 <社会人入試/一般入試(春)>

小論文

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

問題Ⅰ、問題Ⅱのいずれか1題を選択し、別紙解答用紙に選択した番号を明記のうえ、解答すること。

問題Ⅱ 次の文を読み、後の問い(問1~2)に答えよ。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2026年度 大学院入学試験問題

総合文化政策学研究科

文化創造マネジメント専攻 修士課程 <社会人入試/一般入試(春)>

小論文

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと。

問題 I、問題 II のいずれか 1 題を選択し、別紙解答用紙に選択した番号を明記のうえ、解答すること。

*「広場」も「街頭」も：例えば1960年代末の新宿駅西口地下広場（直ちに「通路」と改称）におけるフォークゲリラ集会，安倍政権時ほかの首相官邸や国会議事堂を囲む公道上のデモなど，都市空間における直接行動への人々の参加を指す。

(宇野常寛「都市」の再設定『モノノメ』創刊号、2021年、pp. 36-37より)

問1 筆者が斥けている、個人と社会について従来想定されてきた都市の意義について、50字程度にまとめよ。

問2 下線部「ネットワークの裂け目に、穴に、触れること」とはどういうことか、説明せよ。またそれを踏まえ、現代の都市・ネットワーク環境における「独立した個」のありかたについて、自身の体験や知見を含めて論ぜよ。その際、次の語群から複数使い、用いたときは下線を施せ。[パノプティコン おひとりさま サードプレイス 第四の場所 置き配 ドローン 関係人口 レジリエンス ワークショップ タクティカル・アーバニズム アクターネットワーク]

(問題II 終わり)

(問題 終わり)